

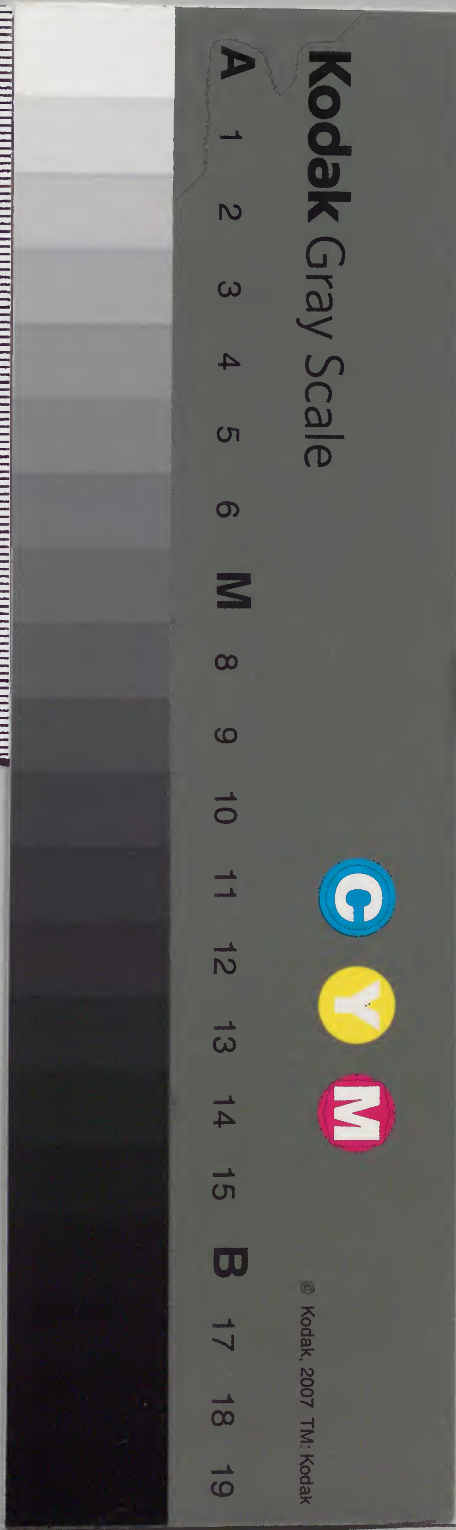
唐土訓蒙圖彙 卷之四

人物之上

		和書門	
二	二七九九〇號	類	
八	函		
七	架		
四			
一	冊		

庫文閣内		和書類	
二	二七九九〇號	類	
八	函		
七	架		
四			
一	冊		

内閣文庫	
番號	和 27990
冊數	11 (4)
函號	184 358



新

唐土訓蒙圖彙卷之四

人物 名の下に
之上 和名と附

人物

此部ハ上三皇五帝トリ君臣の名
トイハレテハ圖像トヨビ佛祖神仙
靈夷戒狄の形容ト云フテラレ

渾沌氏

大荒の代生れて
その物と云フ
ク天地の乃
と明と陰
陽の道に遊し
神ありて靈あり
と云レト萬物
のり云レ



天皇氏 崑

崑崙外の山
出づる徳あり
け時五運始
おろわ大化始
てきて人の風
俗真に淳し
といフ



地皇氏 雄
耳龍門の岳
に出つ火徳有
道と得て中
央子兼之と
至



人皇氏 刑
馬山提地
國子出つ土徳
あり山川を
相て裁て九
州とてとて至



伏羲氏 木
徳と以て天
總て王より八
卦とてく書
契と造る在
位二百一十一年
なり



神農氏 火
徳と以て王に
天下を耕と
り日中
市とて百
草とてを
醫薬とて



軒轅氏 黃
帝徳と脩め
兵と治め蚩尤
と裁て天下
命に飯に涿鹿
に都し一在
位一百年壽
三百歳なり



有虞氏 帝
舜ハ蒲坂の都
母鬻才傲て
常に殺んれ
るも孝なり
堯帝の禪と
うけて在位五
十年壽百十
歳なり



陶唐氏 帝
堯ハ平陽の都
のふとく其知ハ
神の如く百姓
安樂に在位
九十八年壽
百十八歳也



夏禹王 舜
命て水と治め
てあり功あり
舜位と禪て
在位九年壽
百歳なり



唐書卷之四

高陽王 姓ハ

子名ハ履夏の
祭と伐てて
トとたもてり
毫とりよる
邾一のよ在
位十二年壽
百歳なり

周武王 姓ハ

姓名ハ発父
西伯王 聖徳と
以て天下と三
分にしてその
二とたもてり
武王 紂と伐
天下とたも川
在位七年



楚項王 項

籍字ハ羽臨淮
の人長八尺二
寸力能鼎と
抗秦とやるは
漢の高祖
と戦て利あり
以て自到て
死に

漢高祖 姓ハ

劉名ハ邦下
沛の人秦と止
楚と并て帝
位に即り火
徳と以て長安
に都に在位十
三年壽五十二



漢昭烈 蜀

姓ハ劉名ハ備
義興と起り
曹操と戦く
漢中王と稱
後即位あり
在位三年壽
六十二なり

魏太祖 曹

操小字ハ阿瞞
沛國譙の人
漢の獻帝の時
義兵とあし
賊と戦功と
以て王となり
終に漢室を
うへり



漢武帝 名ハ

徹在位五十四
年壽七十一
古より年號を
一此時始て
おこせり武帝
こから神仙
とよめり費
あり

漢光武 漢東

姓ハ劉名ハ秀
民間より兵を
あぎて王莽と
誅し漢室と
中興せり在位
三十二年壽
六十二なり



漢書高祖本紀卷四

三

吳大帝 姓ハ
孫名ハ權魏
文帝 吳王に
封じ位に即て
金陵に都に
在位三十年
壽七十一なり



梁武帝 姓ハ
蕭名ハ衍小
字ハ陳兒甚公
法と信に侯景
乱と起し臺城
と圍て饑て崩
たり壽八十
六なり



晉武帝 姓ハ
司馬名ハ炎司
馬懿の孫位と
篡て自立に
洛陽に都に
吳と平て混
一にあり在位
二十五年 壽
五十五なり



唐太宗 名ハ
世氏高祖牙
二の子太子
建成と殺して
立て太子とな
りたり時天下
を治る負觀
の政と稱する
はめなり



唐則天 皇后
武氏ハ太宗の
才人なり高宗
立て皇后とな
高宗崩し
朝に臨し中宗
と廢して潛立
たり在位二十一
年 壽八十一



宋太祖 姓ハ
趙名ハ匡胤
在位十六年
壽五十六なり
太祖始後周
の事て歳功を
立て後自ら
立て恭帝の
禪となり



唐玄宗 睿
宗才二の子
安祿山と交り
にあり蜀に幸
して位と太子
となり太上皇
と稱に在位
四十四年 壽
七十八なり



元世祖 姓ハ
孛兒只斤
鉄木真蒙古
部人なり世
系古部の長
として威徳を
立てて宋と
比して王たり



明太祖 姓ハ

朱氏諱元章
至正十五年義
兵とせし洪
武元年即位
在位三十一年
年壽七十一
なり



伯夷 名ハ

元字ハ公信
いり才の叔孫
とみとのつり
俱に逃て西伯
に飯に武王の
紂と成したる
凍む首陽
山に隠て餓死
なり



倉頡 黃

帝の賜れ人
帝て鳥の迹
をりて字とつ
くると天られ
くもに粟とふ
ら一鬼とふ
哭れ世人遂に
字ハ頡と稱
すし稱れ



周公 武

王乃弟名曰
といへ成王の
幼と稱て政
と攝す一里
武王周公共
に聖人なり



太公望 姓ハ

姜氏名ハ子牙
又呂尚といへり
西伯偕陽
逢て車にのせて
ゆり立て師と
稱れ六韜
無法とつらる



顔子 名ハ

回字ハ字淵魯
人心と潜く
道と體と
號して亞聖と
稱れ



先聖孔子

名ハ丘字ハ仲尼山東曲阜
縣乃人周の靈王二十一年三月四日午時

生る周乃
敬王四十
一年四月
四日午時
一死あ
年七十
三魯の泗
水の上り
葬る



曾子 名ハ

参字ハ子輿
聖門一貫乃
博と得る
其学問の本源
孝とけり
故に孝經を
曾子の問也



子思 名六

及孔子の孫伯魚の子衛子思の字也中庸と作り聖學と演じて孟子を以て啓く



孟子 名六

軻字ハ子輿魯の孟孫の後鄒人なり業と子思の門より學既に通して齊梁の間にあふ其學萬世に傳る



莊子 名六

周字ハ子休宋の國睢陽蒙縣の人長桑公と師と南華仙人と号たり著以形内外篇五十卷九十萬餘言也



屈原 名六

平楚の同姓也三閭大夫と号たり諫を遂て憂愁して離騷とけく羅江に沈む



張良 名六

字房韓の公子なり圯上老人の書と授け高祖に用られ功成て後赤松子と保てり



韓信 名六

の字ハ信淮陰の人なり漢王壇と築て拜して大将として三秦とさして大功とあり後誣られ斬死れ



司馬遷 名六

字長とつる漢の太初中に太史令となり刑を以て憤と發し史記と修し万代史官の法とたり



嚴子陵 名六

光會私百餘年の人なり光武と同学し先武帝位に用んとすれ山に耕して居たり



諸葛孔明 諸

葛亮字孔明 南陽に寓居す 劉備を 助て名臣乃 名とわたり

關羽 字

雲長河東解 人なり蜀乃 先主に事て 恩兄弟の 孫權を 与れとあり



王逸少 王羲之

之字ハ逸少將 軍會稽乃 内史とあり上 己の山陰の 蘭亭に會して 風流の名わり又 古今能書の才 一たり

陶淵明 晋の

臣なり宋に 在る名と譽て 潜字ハ元亮 と名け世に 靖節先生と 号れ酒の 隠る人なり



杜子美 甫

字ハ子美京兆 杜陵の人なり天 家の末賦を 奏り帝と 奇くして拾遺 の官なり 及海南よりが さらし人の才 一たり

李太白 李賀

の母張庚の懐 に入とめえて 李白とあり 因これと名く 世に謫仙人 と稱れ杜子 と一雙なり



韓退之 名

愈字ハ退之 南陽の人なり 學者と稱れ 北斗の如し佛 骨表と上て 潮列に謫せ

柳子厚 名

宗元河東の 人せし柳柳 州と稱れ韓 柳と并稱せ 文章卓 偉の進士 一たり



賈浪仙 賈

嶋字ハ浪仙と
いひ初ハ法乾
寺の僧あり
世ニ稱ヒ僧ハ
敲月下門の
句と傳ふる人
ナリ

白樂天 名

居易大原乃
人敏悟人絶
進士氣に登
その時乃約
慈恩塔上
題名凌才九
人中取少年

邵康節 名ハ

雍字ハ堯夫河
南の人天文易
学の数理に達
一世の易と号
者皆堯夫を
とらへりその
著ハ取皇極經
世書あり

程伊川 名ハ

願字ハ正叔聖
学の正脈と傳
孟子の氣象者
と謂ふ所謂天
民乃先聖聖
代の真儒と
いへり



司馬溫公 字ハ

君實夏縣の人
君弟蕭然と
して圖書ル
盈つその著
所資治通鑑
あり宋朝才
の人物ナリ

張橫渠 名ハ

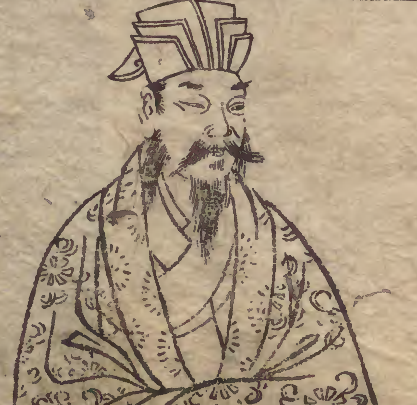
載字ハ子厚
長安の人西の
洛とわつて学
問力行國中
士人の宗師と

程明道 名ハ

顥字ハ伯厚
伊川の兄なり
兄才とも賢
名あり氣象
温和より
顔子に似たり
といへり

周濂溪 名ハ

惇願字ハ茂
叔道而管道
の人人品高く
胸中洒落
光風霽月の
と黄山
谷といへり



唐土訓家國景卷四

歐陽永叔 名

脩字ハ永叔
廬陵の人少
孤なり家貧
七灰といて地
は畫テ書ト
まろり宋朝才
一の文章かり

陸子静 陸

九淵字ハ子静
金谿の人学者
象山先生と
稱レ語録せ
二行ハ家その
子心と本とし
禪ニ似たり程
朱の學と同

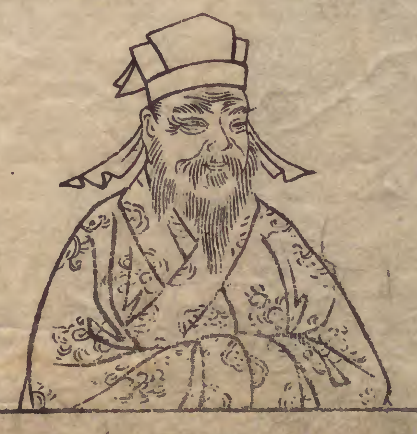


朱晦菴 名

熈字ハ元晦
南一ノ文と諡
らる孔子孟以表
の理学と啓き
周程の書と註
一文章より
まで大成の真
儒なり

黃山谷 名

庭堅字ハ魯直
洪州の人官大
史に至り初李
公擇と石牛洞
山谷寺ニ相ま
る常ニ遊
故ニ山谷道
人と号レ



蘇東坡 蘇

子瞻名ハ軾東
坡居士と号レ眉
山の人翰林字
子瞻ハ文筆
古今一絶れて
畫も亦名家
なり

許魯齋 許

謙字ハ益之金
華の人學ハ程
朱の統とほご
その外天文地
理典章字學
醫經術教乃
深該すといそ



薛文清 名

瑄字ハ德温
山西河津の人
年十二ニして
詩賦と善レ
進士ニ登リ御
史ニ擢らる諸
生薛夫子と
号レ

王文成 王

仁字ハ伯安餘姚
の人教賊とわ
かちわり學ハ
陸象山のちと
つぎて心學の宗
たり世ニ揚明
先生と稱レ



神皇正統記卷四

公文久城將神酉丁



圖つ星魁



馬司名將神卯丁



通名將神未丁



音之觀之衣之白



佛之尼之牟之迦之釋



佛神仙類

唐土言... 卷四

君之帝之武之真



音之觀之海之南



卿玉衛名將神午甲



江子辰名將神戌甲



玉子趙名將神丑丁



卿巨崔名將神己丁



卿非孟名將神辰甲



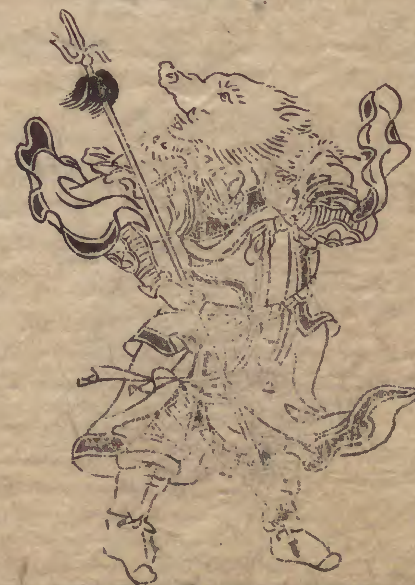
長文扈名將神申甲



卿文王名將神子甲



通文張名將神亥丁



神皇正統記卷四

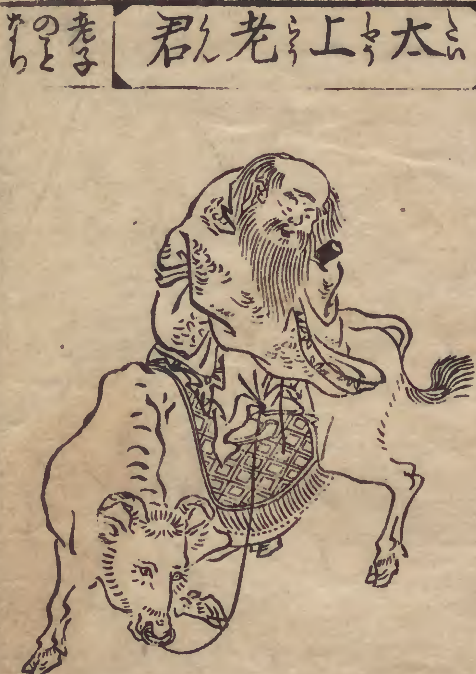
神皇正統記卷四



祖 彭



母 王 西



君 老 上 太



童 文 明 名 將 神 寅 甲



賓 洞 呂



羽 方 東



氏 陵 西 妃 元 蠶 先 神 之 駒 天

蠶の神ハ天駒の星ヲりらしてハ晉書ニ
 載シ炎帝の元妃西陵氏といハル始メ
 夫ハヒトナリシコトナリ

唐書卷四
 卷四

唐詩話卷四

張果老



陶弘景



王質



陳圖南



萬國
君子國



扶桑國



契丹



巴赤舌



包石 くわいせき



吾原愛達 ごはらあいだつ



阿思 あし



無連蒙古 むれんもうこ



紅夷 こうい フラニタ



土麻 つちあし



女暮樂 にょくらく



阿里車廬並 ありぐるまらへ





鐵東



朱牙金彪



擺里



乾魚目國



歌祭



後眼國



大西羅國



深烈大

唐土諸家圖卷四

唐土諸家圖卷四

波利



乞黑奚



氏吾散僧



方連魯



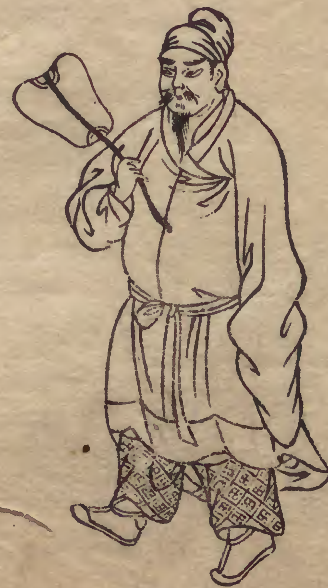
骨利國



木思奚德



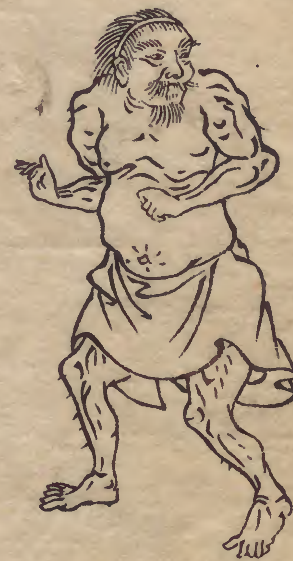
黑蒙國



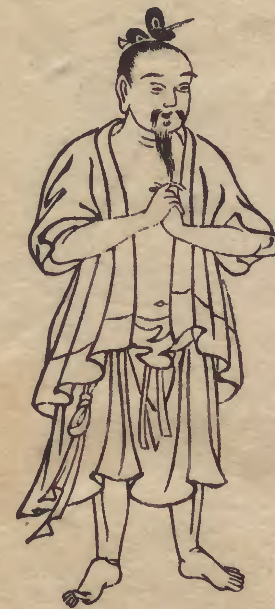
訛魯



三伏駝国



木直衣



獠



西洋国



逆佛国



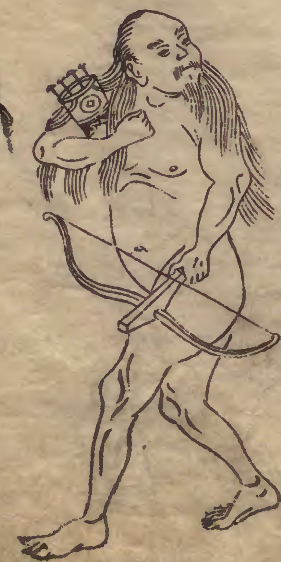
文身国



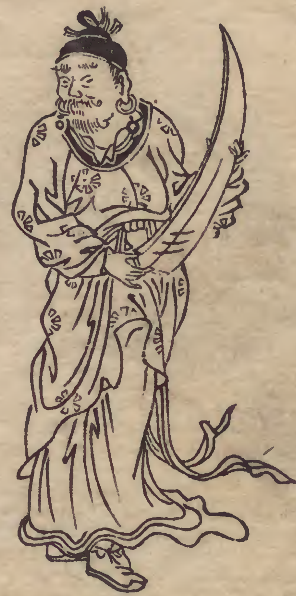
鳥伏部国



道明国



義渠國



蘇部識匿國



烏孫國



正陽國



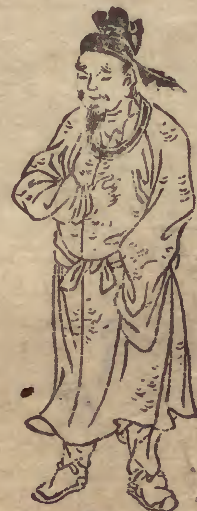
乾陀國



龜茲國



新千里國



擔波國



長脚 長臂 國

長脚 長臂 國

長脚 國ノ人ト
長臂 國ト相
近シ其人常ニ
長臂ヲ負テ
海中ニ入テ
魚ヲ上ル

撒馬兒汗

サニルキマ



下靈國

